

MU・KU

DIYリフォーム情報誌 vol.9
2020. 新春号

特集 ～DIY型リノベ 材料の選び方～
呼吸する壁材（内装仕上げ材）



人と地球の健康を創るリフォーム

DIY型リノベは、建てる人の意志、住む人の意見で家づくりをすること。無垢の木や自然素材でリフォームするには、住み手の意志（自己責任）で行うことによりクレームリスクもカットできコストダウンにもなる。施工は専門家をお願いしても、自分で出来るところはDIYで行うこともよい。無垢の木を構造材や仕上げ材に使用すれば居住性が良く、長期にCO2を固定化でき温暖化対策にも貢献する人と地球にやさしい住まいづくりができる。DIY型リノベには借家を住み手の想いでリフォームするDIY型賃貸借と持家を住み手の意志で行うDIY型リフォームがある。

Contents

02	【特集】 一呼吸する壁材(内装仕上げ材)
04	DIYリフォーム情報 タナクリーム (田中石灰工業) 適材適所 樺・栗
05	活躍するDIYリフォームアドバイザー 鈴木 雅博 北林 敦子
06	ワークショップガイド 三和土の実践
07	Close-up レポート 「おおなんDIY木の学校」
08	Topics

DIYで造り付けキッチン製作

鳥根県邑南町で始まった「おおなんDIY木の学校」の専門科目「造り付けキッチン講座」に講師として参加しました。専門科目では、宇都井地区に残っている築95年の木造医院をカフェへと再生する現場を教材としています。医院の待合室だった土間を三和土とすることからスタートし、床を杉フローリング張への再生、小舞壁の再生、造り付け家具による壁面書棚の5講座6回を重ねてきました。

参加した受講生は、DIYリフォームアドバイザーのDIYマイスター資格の取得を目指す方をはじめ多様な目的や年齢の方達でした。DIYのスキルを得ることで仕事や生活の幅を広く、豊かにしたいという熱意は共通していたと思います。かつての集落の重要な建物が長く使われることなく閉ざされていた状態から、皆で手を加えて少しずつ息を吹き返しているプロセスを通じて、技術を身につけるだけでなく、建物を自らの手で再生させる意義やその効果を感じ取る貴重な機会になったと思います。

今回の実習は、カフェの厨房に造り付けキッチンをつくることでした。設計したキッチンは、短時間で施工可能な仕様で、DIYで作れる簡易で安全な施工方法としました。カウンタートップは、2850mm×650mmで50角タイル貼とし、ステンレス二層シンクとビルトインガスコンロを設置、キャビネットは杉無垢パネルを使って組み立て。正面壁もタイル実習の場とすることで、キッチンと建築との一体化も目指しました(写真P7)。DIYでは不可能な工業製品と思っていたキッチンをつくることで、DIYで生活環境を変えることにチャレンジする勇気を持ってもらったら幸いに思います。

おおなんDIY木の学校では、広島や大阪や東京など他県から多くの参加者がありました。かつて繁栄した地域が過疎となり、人で溢れていた建物が空家となる。その空家を再生する過程で、地域の歴史や建物の時代背景を学び、再生させる人たちの強い意志を感じることができたと思います。カフェ開業の来春まで再生は続いていきますし、その後も地域は新しく生まれ変わるための努力を重ねていでしょう。自分が関わった建物や町の未来、イベントには今後も意識していくと思います。

町とのつながりをもつ関係人口を作り出すことに、地域も巻き込んだDIYによる建築の再生は大変有効であることが実感できました。

NPO法人住環境デザイン協会 副理事長 林健次郎

DIY型リノベ

呼吸する壁材

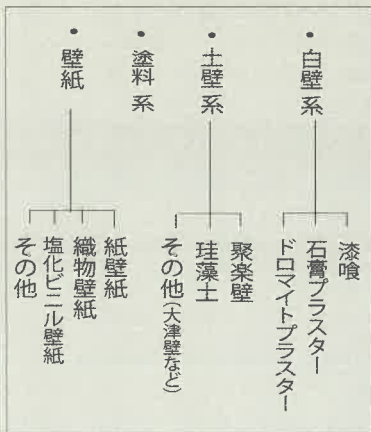
(内装仕上げ材)

住空間で大きな面積を占める「壁材」は、室内の空気質をつくる大切な役割を担っています。壁材が健康にどれくらい影響を及ぼすか……部屋に流れる空気と健康の関係は住まいづくりにおいて重要です。

日本の住まいは古来より、竹を編んでわらを混ぜ、土を塗って壁を仕上げてきました。水分を吸ったり放ったり……呼吸する自然素材は、結露を防ぎ空気の浄化作用をも併せてもっています。

一九六〇年代以降、壁仕上げ材の主流はビニルクロスが占めています。近年、シックハウス等の問題があげられるなか、健康志向、環境問題などの面から自然素材による壁材が見直されています。

私たちが本来心地よいと感じるものは、やはり自然の恵みを十分に享受できるもの。DIY型リノベによる壁のエコ仕上げで健康を育む住まいづくりを実践したいものです。



白壁系

城や土蔵、伝統的な街並みの古民家に用いられてきた日本古来からある白壁。調湿機能を備え、季節ごとに変化する日本の気候風土にあった塗り壁

漆喰

■本漆喰 (自然素材からつくられる天然漆喰)
サンゴなどの化石を塩で焼いて作る消石灰に、海藻を炊いて作ったのり、ひび割れを防ぐ麻すさなどを混ぜて水で練り上げたものを本漆喰と呼ぶ

漆喰の特質

- 湿気を吸放出する調湿機能があり、強アルカリ性なのでカビが発生しにくい
- 耐水性、耐火性に優れている
- 乾燥後の収縮率が高いためヒビが入りやすい
- 空気中の二酸化炭素と反応して固まる(気硬性)ため、自然に乾くまでに時間がかかる(6か月位)

施工

小舞下地や木摺り下地に、中塗りや上塗りを重ね仕上げるため、時間と高度な左官技術が必要



本漆喰



西洋漆喰

■新漆喰 (伝統的な塗り壁の良さを見直し、現代に適応した塗り壁材)

消石灰にバインダー(つなぎ)を調合することで、漆喰の機能を保ちながら塗料状態化した取り扱いやすい材料。本漆喰に比べて、ひび割れにくく乾きやすい

施工

- ハケやローラーによる施工が可能で、石膏ボード直塗りや改修時の壁紙、古壁の上に塗れるものなど多種の商品が開発されている
- 素材を調合して作る現場調合タイプ、調合済みの粉に水を加えて練るプレミックタイプ、すぐ使用できる練り込みタイプがある

■西洋漆喰 (ヨーロッパで使われているDIY用の白壁を一般的に西洋漆喰と呼ぶ)

日本の漆喰は、薄く均一に仕上げるのに対して、西洋漆喰はコテなどで表面に表情をつけて塗ることが多い

焼石膏を主成分としたプラスターで厚塗りが可能。水と化学反応をおこして硬化する性質(水硬性)なので、硬化は早い(3時間位)漆喰よりも硬く、乾燥における収縮が少ないため亀裂が生じにくく、作業性に優れている



石膏プラスター塗り

白雲石を主成分としたプラスターで左官材料の中で粘土性が高い。気硬性なので、硬化は遅い(数か月)が漆喰より乾きやすい

※石膏プラスター、ドロマイトプラスターは本来、下地によく使われることが多いが、最近はラフで粗粒りなテクスチャを表現したいときに使われる

石膏
プラスター塗り
ドロマイト
プラスター塗り

土壁系

日本の伝統的な壁づくりで、色土、色砂などの天然材料で仕上げる塗り壁で、地方によって様々な種類がある。土壁を和室に限定せず、仕上げを工夫すれば洋室にふさわしい表情の壁になる

聚楽壁

元来京都の聚楽付近から産出する土を用いた塗り壁仕上げ材で京壁とも呼ばれ、数寄屋建築や茶室に使われる。年月を経ても変わらない温かみと上品さが特長

■新聚楽

戦後の住宅の聚楽壁の大半は、新聚楽と呼ばれている新建材(合成エマルジョン砂壁)が多い



聚楽壁

珪藻土

植物性プランクトンの死骸が堆積し、何百年という時を経て化石化した土。古くから七輪や耐火断熱レンガとして用いられていた天然素材

■新建材としての珪藻土

壁材料としての珪藻土は、1990年代に商品化された新建材で、漆喰やプラスターのように自ら固まる力がないのでバインダーが必要。漆喰は、内・外装、水廻りにも使用できるが、珪藻土は、基本的に内壁のみに使用

おすすめエコ塗り壁材

漆喰・新漆喰	珪藻土	おすすめエコ塗り壁材
タナクリーム	古くから土佐つくいを製造しているメーカーがDIYで施工できる内装用漆喰クリームを商品化。化学物質を含まず、安心安全。	田中石灰工業
瀬戸漆喰	砂漆喰に牡蠣殻から抽出したカルシウムイオン水を混ぜ、強度と耐久性を上げることに成功した、古くて新しい素材	瀬戸漆喰本舗
快適空間	かき殻粉末を主原料に天然珪物、植物繊維、樹脂(最小限の割合)等を配合することで、漆喰の機能を保ちながら塗料状態化した取扱いしやすい材料	丸栄
カルクウォール	天然成分100%のスイス漆喰。厚さ2ミリ以上もの漆喰壁をつくりだし、その軽石のような構造は、夏涼しく、冬は暖かい空間を実現	イケダコーポレーション
珪藻土	ダイアトームス	カルシウムと天然ミネラルを配合した健康塗り壁材
		エバーウォールジャーベートルディング

※ 新漆喰・新聚楽・珪藻土は、DIY型リノベによく使われる塗り壁材

塗料系

日本には、漆・柿渋・ベンガラなどの伝統的天然塗料があり、エコ塗料として再評価されています。また近年では、環境・健康面などへの配慮から水で希釈できる水性塗料が安全で利便性がよいため、各塗料メーカーから商品化されています

天然樹脂塗料

- 漆塗料 漆の木から採取したウルシオールが主成分。塗装工程が多く、手入れが必要
漆の代用品としてカシューの実から採取したカシュー塗料がある
- 柿渋塗料 柿タンニンを多量に含み防虫効果、耐水性がある
臭いが最大の欠点であるが、臭いのしない塗料用柿渋も開発されている

エマルジョン系塗料

水性で有機溶剤を含まない安全かつ無公害な塗料。ほぼ無臭のため内装仕上げに使用できる
コテ塗りの他、ローラーやハケ塗りも可能で、カラーバリエーションが豊富でDIYに人気である



おすすめ エコ塗料

エマルジョン系塗料	ベンジャミンムーア	アメリカでナンバーワンのシェアをもつペイントブランド。アクリル樹脂の含有率が100%高めることにより、塗料が跳ねたり垂れたりしにくい水性塗料	青山フラッグシップショップ
	ターナーミルクペイント	水性塗料で、ミルク原料を使用した天然由来ペイント。DIYを安全に気軽に楽しむために原料にこだわった塗料。落ち着いた色調のものが多くの特徴	ターナー色彩
	Farrow & Ball	環境に優しい水性塗料。用途によって使い分けできる3つの艶がある。全132色。英国の歴史的建造物の修復でも多く使用。	カラーワークス
水性粘土塗料	クレイペイント	ドイツで生まれた自然粘土塗料。粘土の優れた特性を生かした水性の内装用塗料。日本以上に基準の厳しいヨーロッパのエコラベル(EU Ecolabel)取得	縄文

壁紙

一般的な住宅には、石膏ボード下地にビニル壁紙が多いが近年、安全性が重視されるなかで、雨の日には湿気を吸って、晴れた日には吐き出す自然素材の壁紙—呼吸する壁紙—が見直されている

紙壁紙

和紙壁紙 楮や三桠などの自然の植物を原材料とする和紙壁紙は、やさしい素材感と通気性、光や音をやわらげる効果がある。和紙は、デリケートなイメージがあるが拭くことができるように樹脂加工したものもある



月桃紙



杉炭紙

洋紙壁紙 ヨーロッパで普及した紙壁紙は、伝統的な印刷技法によるプリントやデザイン、色柄などが豊富である。欧米では、DIYにより紙壁紙を張り替える文化が定着している



織物壁紙

紙布壁紙 紙布は天然パルプを糸状に加工して織り上げて裏打ちした自然素材の壁紙。風合いも良く、使い込むほどに味わい深くなるのも特長である。天然素材の紙で織られた紙布は、吸湿性も高く、結露しにくい



紙布壁紙

塩化ビニル壁紙

ビニルクロス (一般名称) 塩化ビニル樹脂などを主な素材とするビニルシートに、紙などを裏打ちしたもの。安価で施工性が良いため、壁紙の中で最も多い。表面を拭けるため掃除がしやすいが、継ぎ目部分が剥がれやすく張り替えやメンテナンスが必要である



塩化ビニル壁紙

糊について 壁紙を接着する糊のほとんどは、化学物質でできている。まさに接着剤である
見えないところにも安心・安全な100%自然素材の壁紙用天然糊が商品化されている

エコ壁紙 商品一覧

紙壁紙	げっとうし月桃紙	沖縄に群生する月桃の茎で作られる。月桃の細かい繊維の素材感による独特の意匠性がある	日本月桃
	土佐和紙	楮、三桠、雁皮といった自然の植物を原料としているため、時間と共に風合いが増す	クロスロード
	さんたんし杉炭紙	杉の間伐材を原料とし、紙の原料に炭を混ぜ合わせ接着剤を使わずに和紙漉きのように作られる	イシコー
	い草壁紙	い草を主原料にした100%自然素材の和紙壁紙。透湿性、調湿性に優れている(商品名:アイウォール)	茶屋の本工房
	こうぞ楮壁紙	日本の伝統技術に支えられてきた楮和紙壁紙(商品名:KOZO)	トミタ
	洋紙壁紙	洋紙を原紙にプリント加工やエンボス加工を促がしたもの(輸入壁紙:ウイリアムモリス、サンダーソンetc)	マナトレーディング
織物壁紙	しふ紙布壁紙	和紙をよった糸で織りあげた伝統の布「紙布」。細かな格子模様が目を引き温かみのある和の風合いが魅力	津島織物製造

= column =

壁仕上材の変遷

古民家の内壁の多くは竹木舞に土壁下地をつくり、漆喰や砂壁で仕上げられています。戦後の住宅の壁は竹木舞の代わりにラスボードを張りその上に石膏プasterを塗り、仕上に砂壁などを塗るといった半湿式工法の時代もありました。1980年頃から施工の合理化や左官職人の不足から、洋室も和室も大壁にして石膏ボード下地に塩化ビニルクロス貼りという乾式工法が一般化してきました。最近では、新築もリフォームも石膏ボードや塩化ビニルクロスの上に薄い塗り壁が人気となっています。これは新半湿式工法と呼ぶのが良いかも知れません。表面だけでも湿式にする理由は味わいのある手づくり感があり、室内空気質が良くなるからでしょう。(I.K)



土佐塩焼灰



施工例

自分の手で塗れる自然素材の壁 クリーム状漆喰

タナクリーム

田中石灰工業

明治27年の創業以来、良質な石灰や漆喰を全国に供給し続けてきた田中石灰工業。その優れた素材は、多くの国宝・重要文化財にも使われています。漆喰がもつ長所をそのままに、DIYでも使いやすいようにクリーム状にした商品を開発。化学物質を含まない自然素材であるしっくい壁を自らの手で施工することができます。DIY型リノベには、「タナクリーム 1日仕上げ」がおすすめです。

タナクリームの優れた特長

- 100%自然素材・・・消石灰と水のみでつくられた壁塗り材
 - 加工段階でも化学薬品等を使用せず、ホルムアルデヒドを含まない
 - 樹脂などの硬化剤を使っていないので、経年劣化により表面がパラパラ落ちることがない
- 多孔質なので臭いや化学物質を吸着
 - 高い吸放湿性能により、四季を通して快適な空間を維持
 - タバコ、ペットなどの気になる生活臭を吸着
 - 他の建材から発生したホルムアルデヒドを吸着し分解
- 主成分である消石灰の機能
 - 防カビ性に優れ、結露によるカビの発生を抑える
 - 抗菌作用で菌類の増殖を抑制し減少させる
- 施工しやすく薄塗り可能
 - クリーム状なので、開封後、軽くかき混ぜるだけで使える
 - タナクリームの機能性は半永久的に持続する上に、何度でも塗り重ねが可能

DIYで簡単施工 — 中途り不要で1日仕上げ可能

- 石膏ボードにタナシーラーを塗って乾かした上に、コテで二度塗りする
《一度目を塗った後、乾くのを待たずにそのまま二度目を塗ってもよい》
 - 骨材である石の粒が入っているためコテで塗りやすい
《コテで塗る厚さは、2回とも1mm以下の厚さで薄塗りできる》
 - 着色が自由である
- ※ビニールクロスの上から塗る場合は、姉妹品「カルウ」がおすすめ



《DIYにおすすめ商品》



タナクリーム 1日仕上げ
20kg / 1缶 11,000円



カルウ
ビニールクロスの上から塗れる
(少量の樹脂を含む)

田中石灰工業株式会社

高知県高知市五台山3983
TEL (088)878-0566

<http://tanacream.com/>

適材適所 Vol.4

けやき 欂・栗

欂と栗は、古来から建築に使われてきた国産広葉樹の代表格です。古民家の価値評価には柱、梁など構造材や造作材に使われている樹種で大きな判断ができます。良質の古民家には木理の表情が美しく耐久性の高い欂や栗が多く使われています。適材適所については、欂材は木理が美しく硬く耐久性も高いので大黒柱、式台、上がり框、縁甲板、造り付け家具、箆笥などによく使われてきました。

栗材は水湿に強いので土台や水回りや外部に面した柱などに多く使われ、木目が美しく、耐摩耗性も高いので単層フローリングやカウンター、無垢テーブルの天板にも適しています。

錦帯橋(山口県岩国市)のアーチ状の橋桁には欂が使われ、手摺の部材には栗が多く使われているようです。



欂の式台と上り框



栗のティッシュボックス



これまで人気DIYリフォーム番組にも出演され、DIYアドバイザーとして活躍中の鈴木雅博さん。2017年にDIYリフォームアドバイザー資格を取得し、空き家の再生も手掛けられています。

自分の家を 住み心地のよい家に変えるお手伝い

DIYリフォームアドバイザー 鈴木 雅博

アメリカで体感したDIYスピリット

私の生家はもともとは材木商を営んでおり、その後、建築業を経営するようになりました。大学卒業後、今後の住宅建築の勉強をすべく渡米したのは40年前のことです。

1980年代始め、アメリカではDIYは盛んでした。今もほとんど変わらないと思いますが、当時のアメリカ人の家に対する感覚は中古住宅を購入し、自分たちで必要な材料をホームセンターに買いに行き、壁や天井のペンキを塗ったり、フローリングやタイルを貼ったり、水栓金物を交換したりして、自分の家を自分の手で住みやすい環境に変えていく。そこに家に対するこだわりがあり、楽しみがあるようでした。

当時の日本人の住宅に対する考え方とは全く違うこと、また専門的な材料や器具を購入できるホームセンターの規模の大きさにとても驚いたのと同時に、今後日本でもDIYが盛んになるといつつ帰国しました。その時の想いから20年前にDIYアドバイザーの資格を取得しました。

取得後、本業の建築業のかたわら、自分でやってみたいという方にはDIYアドバイザーとして安全な施工の仕方や技術をアドバイスしたり、依頼を受けワークショップの講師もしています。

日本でも定着してきたDIY

日本でもDIYという言葉が定着し、男女を問わず趣味としている方が増えてきた2005年4月から当時のNHK教育テレビで放映された「住まい自分流」にアドバイザーとして2011年3月まで出演。その後2015年7月にも日本テレビ系「妻にはナイショで!」、2017年8月より2018年5月まで日本テレビ系「幸せ!ボンビーガール」に森泉さんの購入した中古住宅をリフォームするという企画に工事監修・アドバイザーとして出演させていただきました。その放映期間中の2017年10月にはDIYリフォームアドバイザーの資格を取得しました。

その番組を見て、出来るところは自分でリフォームしたいと考えている30代の夫婦と知り合い、お手伝いをさせていただきました。以前と比べて、ホームセンターも充実し、ネットで材料を購入できるようになりました。

今後も皆さんが着心地のよい自分に合う服を選ぶ様に、自分の家を住み心地のよい家に変えるお手伝いをさせていただきたいと思っています。

(寄稿)

株式会社ベル興産 代表取締役

東京都江東区住吉1-1-7 <https://bellkousan.co.jp/>

材木屋で20年、リフォーム業20年、そしてDIYアドバイザーと、住宅業界のあらゆることに携わってきた経験を活かし、上手に長く家とつきあっていく方法をアドバイスします。



DIYリフォームアドバイザー、整理収納アドバイザーとして活躍される北林敦子さん。

DIYを暮らしだけでなく、社会の活性化にもつながるよう、DIYの魅力を発信されています。

家をスタイルの発信の場として楽しむ

DIYリフォームアドバイザー 北林 敦子



DIYリフォームアドバイザー資格取得のきっかけ

海外と違って、日本では「大工仕事は業者まかせ」な意識がまだまだ根強いですが、最近は、SNSや雑誌でもDIYの工夫のアイデアを目にするようになり、DIY教室に参加される方も増えてきました。実際に家のリフォームまではなかなか、という方も多いです。もっと、DIYを通して家をスタイルの発信の場として楽しむことを当たり前にしたい。DIYリフォームアドバイザーはそんな想いを発信するのにピッタリな資格だと思い、受講しました。



DIYリノベ事例紹介

20年前に購入した我が家は建売りの戸建てだったので、壁を珪藻土やペンキで塗り、床は無垢材で上張りし、家具も手作りを楽しんできました。現在、和歌山でDIY教室を開いている「Box*0(ボックスゼロ)」は、空きビルの一室をリノベーションしたレンタルスペースです。

といっても女性オーナーと2人きりなので、間仕切りなどをコツコツと増やして手作りした空間です。女性の利用者が多いので、貸会議室とは違うカフェ風のカウンターも作り、明るいホワイト中心にペイントをした、やさしい気持ちになれる空間づくりを目指しました。



DIYリフォームの魅力

私は整理収納アドバイザーとして片づけの活動もしています。欲しいと思えば何でもお店やネットで手に入り、すぐに飽きてしまう。それが「モノ余り」を引き起こしている原因のひとつだと感じています。その点、DIYで作ったオリジナルのものは、手を掛けたこその愛着がわき、モノを大切に作る気持ちが生まれます。また、木材は飽きたら捨てるのではなく、リメイクできるのも利点です。住みながら、時間をかけて、生活に合わせた変化を加えつつ、暮らしを楽しむことができる、というのが最大の魅力ではないでしょうか。

これからしたいこと

「木の学校」の参加を通して、より自然素材を生かしたDIYの提案や、古民家再生についての興味が深まりました。DIY教室のある和歌山県も、空き家が多く、過疎化が進んでいる地域がたくさんあります。微力ながらその活性化につながるようなイベントを、地元企業と一緒に、企画していきたい。そのために、まずは認定講師を目指して、DIYリフォームアドバイザーのネットワークを広げていければ、と思っています。(寄稿)



インテリアコーディネーター
整理収納アドバイザー

整理収納セミナーを企画・開催片づけの現場にも携わる
DIYでリノベーションをした自宅は雑誌等に多数掲載され、2015年オープンした和歌山レンタルスペースBOX*0でDIY教室を開催中

my life*Box
<https://www.my-lifebox.com/>

DIY型リフォームワークショップ

無垢と自然素材で創るDIY型リフォーム

Work shop 事例紹介

DIYリフォームワークショップは、実践技術を磨く場として多彩なプログラムが予定されています。ホームページにて開催案内の内容を確認してください。

DIYリフォームアドバイザー資格認定講座及び入門講座の受講者は、様々なDIYリフォームワークショップ(DIYリフォーム研究会企画)に参加することができます。

ワークショップメニュー

- ①DIY型リフォーム事例見学・研修
- ②塗り壁の実践
- ③三和土(たたき)の実践
- ④木材加工の実践
- ⑤壁塗料の実践
- ⑥床の再生(フローリングの張り方)
- ⑦壁紙の貼り方
- ⑧モザイクタイルの張り方
- ⑨大工道具の選び方・使い方・研ぎ方
- ⑩電動道具の選び方・使い方
- ⑪古民家再生
- ⑫棚の取り付け方 etc

たたき
三和土の実践

「三和土」という漢字は赤土、消石灰、苦汁の三種類を混ぜ合わせることに由来しています

三和土は古典的な土間仕上げです。赤土、消石灰に苦汁を加え、これらを混ぜ合わせたものを叩き棒や叩き板などで叩いて仕上げます。現在は古民家再生ばかりではなく、都市近郊住宅においても三和土は注目されています。材料さえそろえば、思ったより簡単に楽しく三和土をつくるので、ぜひチャレンジしてみてください。

材料・道具

- 材料**
- 赤土** 赤土は鉄分を含んだ粘土です。大量に必要なになるので、できるだけ近い場所での調達方法が良いです
- 消石灰** 消石灰(水酸化マグネシウム)は、ホームセンターなどで1袋20kgの消石灰を調達することができます。顆粒状消石灰や苦土消石灰は避けましょう
- 苦汁** 苦汁は塩化マグネシウムを主成分とする食品添加物ですが、道路の凍結防止剤、防塵剤として使われているので冬季はホームセンターで購入できます

道具



猫車



柄杓



叩き板



叩き棒



叩きごて

スコップ バケツ

下準備

施工場所に厚さと範囲を決めるため、角材で区切り、施工場所の地盤を平滑にします。消石灰をまいて、不同沈下しないように地盤をしっかり固めます



施工

猫車で赤土(10):消石灰(2):苦汁(0.15)の容積比で混ぜ合わせ、しっかり混合した後に水を加えていきます。水の量は土の状態により異なるため、混ぜ合わせた土をしっかり握りしめたとき固まる程度になるよう、少量ずつ加えます



猫車で混合した材料を施工現場に運び、スコップなどで平滑にしたあと、叩き板などでしっかり叩き固めます。三和土は呼び名のごとく叩き締めることがポイントです。よく叩き締めることによって丈夫で硬い三和土が仕上がります



三和土はコンクリートなどに比べ、初期硬化に2~4週間以上の期間がかかります。ブルーシートを被せるなど、人が立ち入らないように注意しましょう

次回 Work shop

2020年2月15日(土) 13:00~16:30

場 所 : 名古屋モザイク工業 広島 ショールーム

参加費 : 3000 円(材料費込み)

定 員 : 8名(先着順)

モザイクタイルの張り方

モザイクタイルの知識や道具の使い方、施工方法をインストラクターの指導を受けながら学びます。張り方の手順や施工のコツを体得しましょう



ワークショップの開催についてはHPにて随時お知らせします。

■お申込み 一般社団法人住環境教育協会

■HP <http://www.juu-kyoiku.com>

ワークショップのページからお申込みください

■TEL 082-241-5707・FAX 082-241-5645



おおなんDIY木の学校 レポート

前号の特集で掲載しました「おおなんDIY木の学校」の全日程が修了しました。
 邑南町職員でDIYリフォームアドバイザーでもある森田一平さんにレポートしていただきました。

「おおなんDIY木の学校」は、中国山地の真ん中に位置する島根県邑南町で、空き家改修の現場を「教室」に見立てて実施する取り組みで初年度となる2019年度は9月～11月の3ヶ月間に計12回の講座を開き、51人（延べ83人）が古民家再生の知識と技能を習得しました。

おおなんDIY木の学校は、2018年に邑南町が実施した「田舎リノベスクール」においてまとめた古民家活用やDIY技能の習得などのコンセプトを基に、2019年度の総務省関係人口創出・拡大事業として実施しました。

自然素材と無垢の木材を使い、環境と健康に優しい古民家再生を目指し、必要な技能と知識を習得してもらおうと同時に、参加者が邑南町との関わりを深めてもらうのが狙いです。



共通科目



共通科目



三和土



床の再生

各科目は1泊2日の日程で行われ、木材加工の基本的技能を習得する「共通科目」と、古民家の改修現場で実践的な技術を学ぶ「専門科目」は床の再生、土壁の再生、三和土、造り付け家具、造り付けキッチン、自然塗装の6科目でした。



造り付け家具



造り付けキッチン

床の再生では、邑南町宇都井地区にある築95年の旧服部医院をカフェとして再生する現場で行われ、町内の大工の指導を受け、参加者が床板を支える根太の据え方、スギ厚板フローリングを設置する作業を体験。

「土壁の再生」は、真竹を使った格子状の「小舞」を組んだ後、コテで赤土とワラを混ぜた荒壁土や漆喰を塗る技術を学びました。

共通科目(1泊2日)

田舎体験と木の魅力を学び、DIY木材加工技能を身につける

専門科目(各1泊2日)

- ①三和土
- ②床の再生
- ③土壁の再生
- ④造り付け家具
- ⑤造り付けキッチン
- ⑥自然塗装

参加者は島根県23人、広島県20人、鳥取県3人、岡山県2人、東京都、神奈川県、大阪府が各1人でした。参加者は居住地や年代もさまざまですが、古民家を改修したゲストハウスで寝食を共にしながらDIYの話で夜まで盛り上がりました。

参加者からは「古民家改修を実践できる貴重な体験ができた」「講座や宿泊を通じてDIYの仲間ができた」との感想をいただきました。

邑南町としては、この成果を元に2020年度も、より内容を充実させていくことにしています。

「おおなんDIY木の学校・土壁の再生」を受講して 門井登志雄(DIYリフォームアドバイザー)

古民家再生にあたって土壁作りの技術を習得することは欠かせないところですが、実習の機会はほとんどありません。

今回はその土壁の再生技術について学ぶことができました。

講師はホルツヒューター カイル博士と福川雅也さん。

受講生は実家のDIYをめざしておられるご夫婦をはじめ6人。

竹小舞を組み、荒壁塗り、中塗り、漆喰仕上げを実習しました。

壁造りには、こて塗りの技能だけでなく壁土や漆喰の特性を理解することが大切です。

塗った土の乾燥の進み具合を見ながら次の作業に入る、じっくりとした工程です。

1泊2日と時間をかけて作業を実践することは自信にもつながります。

次回機会があれば「造り付け家具」や「自然塗装」の科目も受講しようと思っています。



Topics

令和元年度国土交通省補助事業
「良質住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業」関連セミナー



1/23
(木)
13:30
~15:30

良質既存住宅向けリバースモーゲージを使った 新しいリフォーム・流通サービス【住宅業界向け】

良質既存住宅を対象とした建物評価のあるリバースモーゲージ商品の紹介とその賢い活用方法の提案を通して今後の取組みへのヒントを提示します。

会場：ひろしまハイビル21 16階(広島市中区銀山町3-1)

1/25
(土)
10:00
~12:00

終活&住宅資産の活かし方【消費者向け】

人生100年時代に向けて新たなステージへの準備が求められる時代です。経験豊かなファイナンシャルプランナーが、このような時代背景の下での終活を考えるとときの様々な視点・要点を具体的に示しながらアドバイスするとともに、それに伴う所有する住宅資産の活用方法を一緒に考えます。

会場：アドバンビジネスカレッジ(広島市中区中町7-41)

※詳しくは住環境デザイン協会のHPをご覧ください

お問合せ・お申込み

NPO法人住環境デザイン協会

TEL : 082-241-5707

e-mail : info@juu-design.net

参加
無料

主催：広島良質住宅整備促進協議会 共催：株式会社広島銀行
(主管：NPO法人住環境デザイン協会) 後援：住宅金融支援機構 中国支店

DIYリノベの実例を募集しています

資格者の皆さんがDIYでつくられた実例を住環境教育協会HPで掲載します。
ご協力して頂ける方は下記のメールアドレスにご連絡ください。
皆様のDIYリノベの実例をお待ちしております。



送り先 住環境教育協会
info@juu-kyoiku.com

DIYリフォームアドバイザー資格認定講座

資格認定講座を**広島**で開催します。
受験資格に「古民家鑑定士」が加わりました。
ぜひ、古民家空き家の流通にDIYリフォームの知識をお役にください。

資格認定講座 3月14日(土) 9:30~16:30

- カリキュラム
- ① DIY型リフォーム&DIY型賃貸借
 - ② 工具・道具の基礎知識
 - ③ DIY型リノベの材料とDIY基礎
 - ④ 実践とメンテナンス
 - ⑤ 認定試験

受験資格

建築士(1級・2級)
建築施工管理技士(1級・2級)
宅地建物取引士
インテリアコーディネーター
インテリアプランナー
キッチンスペシャリスト
福祉住環境コーディネーター
賃貸不動産経営管理士
古民家鑑定士、入門講座修了者

上記の住関連資格をお持ちでない方は、DIYリフォーム入門講座を受けることで資格認定講座にチャレンジすることができます。

入門講座 3月7日(土) 10:00~16:00

会場 3/7・3/14とも 住宅デザイン研究所6F(広島市中区大手町3-5-11)

DIYリフォームアドバイザー
資格認定講座公式テキスト



トソー出版
書店でも購入できます

お問い合わせ
お申込み



住環境教育協会

10/26 東京でDIYリフォームアドバイザー 資格認定講座を開催しました



今回で第4回目となる東京での資格認定講座。
講師の福島美邦子先生によるDIY道具の説明では、実物を見ていただきながらの解説に、受講生もよく理解されていました。

DIY情報誌「MU・KU」で紹介した 「活躍するDIYリフォームアドバイザー」をHPにて紹介

これまでの「MU・KU」で紹介した資格者の方の記事を住環境教育協会のHPでご覧いただけます。



資格者紹介ページはこちら

Information



表紙画像 樺の建具

無垢の木と自然素材で造られた建築には無垢の木の建具が似合う。
樺と栗の古材を使って建てられた農業小屋の窓。
無垢の木で建具をつくる指物大工は貴重な存在。
今のうちに木建具を造っておきたい(k)

DIYリフォーム情報誌「MU-KU」では、DIYリフォームに関する情報をお待ちしております。

問い合わせ先・お送り先
info@juu-kyoiku.com

MU・KU
DIYリフォーム情報誌 Vol. 9
2020.新春号
2020年1月1日発行(年4回発行)
発行人 若菜 幸子
編集 吉田 恵子

<発行> 一般社団法人 住環境教育協会

広島市中区大手町2-5-11

NPO法人住環境デザイン協会内 〒730-0051

TEL 082-241-5707 e-mail info@juu-kyoiku.com

FAX 082-241-5645 URL www.juu-kyoiku.com